

▼
関西

カラオケ同好会再スタート！

鈴木 正勝(KTV)

10年前、カラオケ好きの男女10人で始めた同好会ですが、コロナ騒動で丸2年休眠し、8月から再スタートしました。

新メンバーは、山本会長夫妻、大橋前理事長に現理事長の私(鈴木)と、やや頭が重そうに感じるかも知れませんが、とんでもありません。ただ歌謡曲が好きなのでジジババの集まりです。伊藤妙子、滝川楊子、長井和恵と美女軍団も喉を競っています。昭和20年代の歌なら八木晋一、90歳間近ながら前日に家で歌い込んでくる三輪義人、岡晴夫ならこの人の右に出る人はいないという出野徹之と、のど自慢が何人かいるのも確かです。

毎月2回、第一・第三月曜日の午後1時より4時までの3時間、大阪梅田の「ビッグエコー」で歌っています。民放クラブで「全国カラオケGP」が開催されることを夢見て、コロナに負けずに頑張っています！

コーラス同好会

「ウクライナ国歌を

来日ウクライナ避難民と歌う」

大河内 俊彦(MBS)

3年ぶりの関西民放クラブ総会・懇親会が今年5月13日、大阪市福島区のホテル阪神大阪にて開催されました。懇親会でコーラス同好会「コールまかーな」がワン・ステージを受け持つことが4月中旬に決まりましたが、この2年間、合唱活動はおろか発声練習ひとつ叶わず、まる2年間の空白を余儀なくされており、川村指揮者以下メンバー一同、本番用の曲目選定に思案が続きました。

時あたかも、ロシアによるウクライナ侵攻はすでに数カ月。侵略者の攻撃は一層の激しさを増し、平和で牧歌的、美しいこの国の教会や歴史的建造物、日常生活を営む住宅、アパート、病院、市場、学校さえもが標的となつて破壊されました。傷つき命奪われ、悲嘆にくれるウクライナ市民。悲惨な映像が連日我々に届く、目に焼きつく、もはやいたたまれぬ思いが胸を切り裂く。

「何かできないか!? できることはないのか!?!」

己のうめき声が思わず口をついてもれる・・・。

そこで、懇親会で「コールまかーな」が「ウクライナ国歌を歌おう」と決めました。そこに現れたのが金髪碧眼で長身、29歳のアナスタシア・ホロシコさん、凛としたウクライナっ娘です。かの勇猛果敢なゴザツクの末裔だそう。トランク一個を引きずり、爆撃、銃弾、ミサイル、ロシア軍戦車の十字砲火をかいくぐり、単身祖国を脱出。ポーランド、ドイツを経て艱難辛苦の逃避行の末、4月半ば、ようやく日本にたどり着き、京都市国際交流協会に受け入れられたばかり。これを知った「まかーな」との縁あって、ウクライナ国歌を共に歌うことになりました。

「何かできないか!? できることはないのか!?!」

己のうめき声が思わず口をついてもれる・・・。

そこで、懇親会で「コールまかーな」が「ウクライナ国歌を歌おう」と決めました。そこに現れたのが金髪碧眼で長身、29歳のアナスタシア・ホロシコさん、凛としたウクライナっ娘です。かの勇猛果敢なゴザツクの末裔だそう。トランク一個を引きずり、爆撃、銃弾、ミサイル、ロシア軍戦車の十字砲火をかいくぐり、単身祖国を脱出。ポーランド、ドイツを経て艱難辛苦の逃避行の末、4月半ば、ようやく日本にたどり着き、京都市国際交流協会に受け入れられたばかり。これを知った「まかーな」との縁あって、ウクライナ国歌を共に歌うことになりました。

けではなかったはず。故国遠く、ユーラシア大陸も東にはずれた日本で歌う国歌は、一層の重みを帯びたに違いありません。

ガンバレ、ウクライナ!
ウクライナに栄光あれ!

